

2010年度

科目名	日本文学講読V		
担当教員	森崎 光子		
配当	日文1(2111)	コード	33100
開期	前期	講時	水曜日3限
		単位数	2
授業テーマ	近代文学の研究とは		
目的と概要	この授業では、文学作品の研究の基礎を身に付けることを目標とする。 取り上げる作品は、芥川龍之介「羅生門」と井伏鱒二「鯉」である。特に「羅生門」は芥川の代表作の一つであり、高等学校の国語の授業で習った学生さんも多いはずだ。その作品を大学でも取り上げるのは、高校で文学作品を学習するのと、大学で研究するのでは大きな違いがあり、それを実感してほしいからである。		
成績評価法	レポート2本(75%) + 授業時のミニ・レポート(25%)		
テキスト	プリントを配布する。		
参考書			
履修に 当たっての 注意・助言			
講義計画			
第1回	授業の内容・進め方の説明、受講にあたっての注意		
第2回	芥川龍之介「羅生門」成立事情(1)		
第3回	芥川龍之介「羅生門」成立事情(2)		
第4回	芥川龍之介「羅生門」成立事情(3)		
第5回	芥川龍之介「羅生門」成立事情(4)		
第6回	芥川龍之介「羅生門」典拠との比較・分析		
第7回	芥川龍之介「羅生門」内容分析(1)		
第8回	芥川龍之介「羅生門」内容分析(2)		
第9回	芥川龍之介「羅生門」内容分析(3)		
第10回	芥川龍之介「羅生門」初出と決定稿の比較・主題		
第11回	井伏鱒二「鯉」成立事情(1)		
第12回	井伏鱒二「鯉」成立事情(2)		
第13回	井伏鱒二「鯉」映画鑑賞		
第14回	井伏鱒二「鯉」内容分析		
第15回	レポートの書き方、まとめ		